

# 幹事会 H30 年度上半期活動報告

**【目的】** 北信圏域の障がい者福祉の現状と課題を踏まえながら、地域に必要とされる取り組みや施策の実現に向けて、さまざまな検討協議を行う。また、協議会が円滑かつ効果的に機能するための検討協議を行う事を目的とする。

## 【主な活動】

### 幹事会 (年 5 回)

- 相談支援専門員の活動報告を受け、地域の課題について検討を行っている。その中で、訪問入浴サービスの必要性が相談支援専門員から話題にあがり、まずは地域のニーズを把握しながら検討していくこととなった。
- 第 5 期障害福祉計画及び第 1 期障害児福祉計画の進捗管理を行いながら、地域の体制整備を進め、また検証等を行っている。障害者差別解消支援地域協議会の設置、医療的ケア児等支援のための協議の場の設置等について検討し、医療的ケア児等支援のための協議の場については、そだちネットワーク部会内への設置を依頼。

### 市町村 課題検討 WG (月 1 回)

- ケアプラン研究会にて、サービス等利用計画、モニタリングの内容の精査を行い、行政の立場から見た適切なプランの視点を学習し、地域全体の質を高めていく。今年度は相談支援専門員との情報交換会の中でも実施。緊急時対応からその後の生活の支援まで、多くの関係者が連携を取って応援しているプランの共有を行った。
- 圏域内の相談支援専門員との情報共有・意見交換会を今年度 2 回実施予定し、1 回目を 8 / 30 に実施。上記のケアプランの共有と、情報・意見交換を行った。次回 2 / 27 に予定。
- 障害者差別解消支援地域協議会の設置にむけて、権利擁護部会とキャッチボールしながら、この地域の実情にあった協議会の設置にむけ検討を行い、幹事会へ報告。
- 第 5 期障害福祉計画及び第 1 期障害児福祉計画を具体的に進めていくためのタイムスケジュールを作成し、推進を図っていく。上半期では特に、医療的ケア児等支援のための協議の場の設置にむけて講師を招いて学習会をしたり、そだちネットワーク部会重心・医ケア WG より現状を報告して頂き、この圏域にあった形を検討してきた。

### 地域生活支援 拠点等事業 検討会 (月 1 回)

- 今年度は、市町村課題検討WGの中に検討時間を設置し、6 市町村の係長に加え実務担当者も検討に加わっている。
- 地域あんしんコーディネーターの活動や空床 2 床の利用実績について報告を受け、地域課題の検討に繋げている。
- 地域生活支援拠点等の機能を担う事業所の認定取扱い要領の作成を行い、各事業所へ通知。
- 支援者の専門的な支援力向上のための研修会を今年度 4 回計画し、10 月までに 2 回実施。

### 就労アセスメント 体制整備 PJ (必要時)

- H27 年度より実施している就労アセスメントについて、実施状況の共有や見えてきた課題について検討を行ってきた。今年度は、必要に応じてプロジェクトを開催し、課題検討を行う予定。